



がん登録からがん対策への期待

健康開発学科 健康行動科学専攻（健康情報学専攻 2025年度より）

大木 いずみ 教授

【研究分野】 公衆衛生学・疫学、疾病登録、がん対策

【キーワード】 がん登録、がん検診、がん対策、地域保健

【U R L】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=315oki>



研究概要

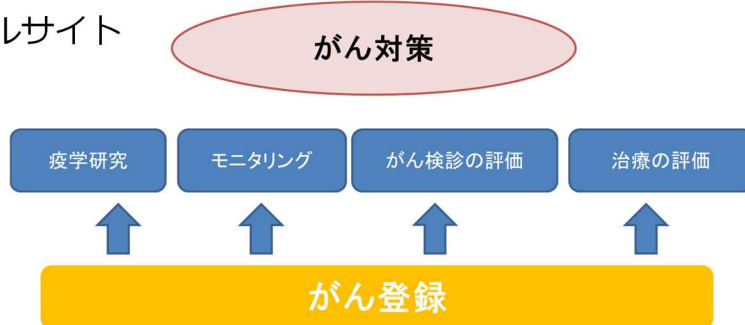
全国がん登録のデータから、都道府県ごとのがん罹患・死亡状況を観察して、その地域に重要ながん対策へつなげる研究をしてきました。

市町村のがん検診事業においても、感度・特異度、陽性反応的中度を求めたり、プロセスを含めて評価検討し、より効果的な検診事業改善への提言をしてきました。

公衆衛生対策を実施する際に必要な、エビデンスとしてのデータ収集について、様々な角度から関与しています。データ利用促進に関する研究・活動もしています。

研究紹介

Cancer Observatory がん統計ポータルサイト
<https://canobs.jp/>



講座テーマ紹介

1. がん登録から地域のがんの状況把握、がん対策への応用など（長期的な検討）
2. がん検診の精度管理の評価
3. 院内がん登録の評価方法
4. 院内がん登録を用いたがん診療の実態把握・感染症（COVID19等）や災害ががん診療に与える影響を把握する
5. がん登録の精度評価・向上対策
6. ライフステージに応じた健康講座
「がん」に関する健康講座（一般向け）：総論的な内容と予防
「がん」に関する授業（小学生～中学生向け）

アピールポイントなど

栃木県では、保健医療福祉関係の方の調査研究サポート事業に参加実施してきました。

国・都道府県の各種委員会に参加しています。

日本がん登録協議会副理事長